

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2024年6月27日(27.06.2024)



(10) 国際公開番号
WO 2024/135293 A1

(51) 国際特許分類:

A61K 8/06 (2006.01) *A61K 8/92* (2006.01)
A61K 8/46 (2006.01) *A61Q 1/04* (2006.01)
A61K 8/86 (2006.01)

SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA,
UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

(21) 国際出願番号: PCT/JP2023/043084

(22) 国際出願日: 2023年12月1日(01.12.2023)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願 2022-207233 2022年12月23日(23.12.2022) JP

(71) 出願人: 株式会社 資生堂 (SHISEIDO
COMPANY, LTD.) [JP/JP]; 〒1040061 東京都中
央区銀座7丁目5番5号 Tokyo (JP).

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保
護が可能): ARIPO (BW, CV, GH, GM, KE, LR, LS,
MW, MZ, NA, RW, SC, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG,
ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU,
TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ,
DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS,
IT, LT, LU, LV, MC, ME, MK, MT, NL, NO, PL, PT,
RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF,
CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE,
SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第21条(3))

(72) 発明者: 福井 明希子 (FUKUI Akiko); 〒1040061
東京都中央区銀座7丁目5番5号 株式会
社資生堂内 Tokyo (JP). 木川 綾乃 (KIGAWA
Ayano); 〒1040061 東京都中央区銀座7丁目5
番5号 株式会社資生堂内 Tokyo (JP).

(74) 代理人: 宮嶋 学, 外 (MIYAJIMA Manabu et al.);
〒1000005 東京都千代田区丸の内1丁目
6番6号 日本生命丸の内ビル 協和特
許法律事務所 Tokyo (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保
護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA,
BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN,
CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC,
EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR,
HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, JP, KE, KG,
KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU,
LY, MA, MD, MG, MK, MN, MU, MW, MX, MY,
MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL,
PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK,

(54) Title: WATER-IN-OIL EMULSIFIED LIP COSMETIC

(54) 発明の名称: 油中水型乳化唇用化粧料

(57) Abstract: [Problem] To provide a water-in-oil emulsified lip cosmetic that stably blends water-soluble dyes and can achieve an excellent feel on use and staining of the lips. [Solution] A water-in-oil emulsified lip cosmetic that contains (A) a water-soluble dye, (B) polyoxyethylene dipolyhydroxystearate, (C) a nonvolatile oil, and (D) water.

(57) 要約: [課題] 水溶性染料を安定配合し、優れた使用感と唇への染め付きを達成できる油中水型乳化唇用化粧料を提供する。[解決手段] (A) 水溶性染料、(B) ジポリヒドロキシステアリン酸ポリオキシエチレン、(C) 不揮発性油分、および (D) 水を含んでなる、油中水型乳化唇用化粧料。



WO 2024/135293 A1

明 細 書

発明の名称：油中水型乳化唇用化粧料

技術分野

[0001] 本発明は、油中水型乳化唇用化粧料に関する。

背景技術

[0002] 唇用化粧料は、ツヤ感や保湿感を付与するために、油性化粧料が数多く開発されている。油分中に配合される油性染料等の色材のカラーバリエーションが少ない。

水溶性染料はカラーバリエーションが豊富であるため、水相に水溶性染料を配合した水中油型化粧料も提案されているが、これは、ツヤ感や保湿感が持続しにくい傾向にある。

一方、ツヤ感や保湿感を付与するため油中水型を採用すると、内水相に水溶性染料が存在するため、唇への染め付きが起こりにくい傾向にある。

[0003] 油中水型化粧料として、ジポリヒドロキシステアリン酸ポリオキシエチレンが配合された、透明性が高い化粧料が提案されている（例えば、特許文献1）。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特開2019-142826号公報

発明の概要

[0005] 本発明者らは、驚くべきことに、ジポリヒドロキシステアリン酸ポリオキシエチレンと不揮発性油分との組み合わせを含む唇用化粧料を用いることで、水溶性染料を安定配合し、優れた使用感と唇への染め付きを達成できることを見いだした。本発明はこれらの知見に基づくものである。

[0006] 本発明によれば、以下の発明が提供される。

[1] (A) 水溶性染料、

(B) ジポリヒドロキシステアリン酸ポリオキシエチレン、

(C) 不揮発性油分、および

(D) 水

を含んでなる、油中水型乳化唇用化粧料。

[2] (B) ジポリヒドロキシステアリン酸ポリオキシエチレンが、ジポリヒドロキシステアリン酸PEG-30である、[1]に記載の化粧料。

[3] (C) 不揮発性油分が、不揮発性炭化水素油または不揮発性エステル油を含んでなる、[1]または[2]に記載の化粧料。

[4] (B) ジポリヒドロキシステアリン酸ポリオキシエチレンの配合量が、化粧料の総量に対して、0.05～5質量%である、[1]または[2]に記載の化粧料。

[5] (C) 不揮発性油分の配合量が、化粧料の総量に対して、10～95質量%である、[1]または[2]に記載の化粧料。

[6] (C) 不揮発性油分の配合量が、油分の総量に対して、40～100質量%である、[1]または[2]に記載の化粧料。

[7] (A) 水溶性染料の配合量が、化粧料の総量に対して、0.01～1質量%である、[1]または[2]に記載の化粧料。

[8] (D) 水の配合量が、化粧料の総量に対して、2～80質量%である、[1]または[2]に記載の化粧料。

[0007] 本発明によれば、水溶性染料を安定配合し、優れた使用感と唇への染め付きを達成できる油中水型乳化唇用化粧料を提供することができる。

発明の具体的説明

[0008] 本発明による油中水型乳化唇用化粧料（以下、化粧料と称することがある）は、(A) 水溶性染料、(B) ジポリヒドロキシステアリン酸ポリオキシエチレン、(C) 不揮発性油分、および(D) 水を含んでなる。

[0009] (A) 水溶性染料

本発明による化粧料は、(A) 水溶性染料（以下、(A) 成分と称することがある。他の成分についても同様である。）を含んでなる。(A) 成分としては、化粧料に配合しうるものであれば特に限定されない。具体的には、

酸性染料である赤色2号、赤色3号、赤色102号、赤色104-1号、赤色105-1号、赤色106号、黄色4号、黄色5号、緑色3号、青色1号、青色2号、赤色227号、赤色230-1号、橙色205号、黄色202-1号、黄色203号、緑色204号、青色205号、褐色201号、赤色401号、赤色504号、橙色402号、黄色403-1号、黄色406号、黄色407号、緑色401号。紫色401号、黒色401号などが挙げられる。また、カルミン酸、ラツカイン酸など天然の酸性染料なども用いることができる。また、塩基性染料として、ローダミンB、メチレンブルー、マゼンダ、オーラミン、メチルバイオレット、マラカイトグリーン、ビスマルクブラウン、モーヴェイン等が挙げられる。

[0010] (A) 成分は、1種または2種以上を配合することができる。(A) 成分の配合量は、化粧料の総量に対して、好ましくは0.01～1質量%であり、より好ましくは0.05～0.5質量%である。

[0011] (B) ジポリヒドロキシステアリン酸ポリオキシエチレン

本発明による化粧料は、(B) ジポリヒドロキシステアリン酸ポリオキシエチレンを含んでなる。(B) 成分は、ポリヒドロキシステアリン酸とポリエチレングリコールとのジエステルであり、特に、INCI名がジポリヒドロキシステアリン酸PEG-30と記載されているものが好ましい。

[0012] (B) 成分の配合量が、化粧料の総量に対して、好ましくは0.05～5質量%であり、より好ましくは0.07～3質量%であり、さらに好ましくは0.1～2質量%である。

[0013] (C) 不揮発性油分

本発明による化粧料は、(C) 不揮発性油分を含んでなる。本発明において、(C) 不揮発性油分は、1気圧での沸点が300℃以上の油分のことをいう。(C) 成分は、好ましくは不揮発性炭化水素油、不揮発性エステル油および不揮発性シリコン油からなる群から選択され、より好ましくは、不揮発性炭化水素油または不揮発性エステル油を含んでなる。

[0014] 不揮発性炭化水素油は、B型回転粘度計を用いて30℃で測定した粘度が

、好ましくは5～500，000 mPa・sであり、より好ましくは5～250，000 mPa・sであり、さらに好ましくは5～100，000 mPa・sである。不揮発性炭化水素油としては、例えば、 α -オレフィンオリゴマー、スクワラン、水添ポリデセン、水添ポリイソブテン、ミネラルオイル、ワセリン等が挙げられ、好ましくは1気圧での沸点が300℃以上の水添ポリイソブテンである。

[0015] 不揮発性エステル油は、B型回転粘度計を用いて30℃で測定した粘度が、好ましくは5～500，000 mPa・sであり、より好ましくは5～250，000 mPa・sであり、さらに好ましくは5～100，000 mPa・sであり、よりさらに好ましくは10～50，000 mPa・sある。不揮発性エステル油としては、例えば、リンゴ酸ジイソステアリル、トリエチルヘキサノイン、エチルヘキサン酸セチル、テトラエチルヘキサン酸ペンタエリスリチル、ジイソステアリン酸グリセリル、トリスステアリン、ヘキサヒドロキシステアリン酸ジペンタエリスリチル、（イソステアリン酸ポリグリセリル-2/ダイマージリノール酸）コポリマー、ダイマージリノール酸ダイマージリノレイル、ダイマージリノール酸（フィトステリル/イソステアリル/セチル/ステアリル/ベヘニル）、ラウロイルグルタミン酸ジ（オクチルドデシル/フィトステリル/ベヘニル）、（ビス（ラウロイルグルタミン酸/ラウロイルサルコシン）ダイマージリノレイル）、マカデミアナッツ油等の植物油等が挙げられる。

[0016] 不揮発性シリコーン油は、好ましくは、B型回転粘度計を用いて30℃で測定した粘度が5～5，000 mPa・sであり、より好ましくは5～1，000 mPa・sであり、さらに好ましくは5～500 mPa・sであり、よりさらに好ましくは5～100 mPa・sである。不揮発性シリコーン油としては、例えば、ジメチコン、ジフェニルジメチコン、ジフェニルシロキシフェニルトリメチコン等が挙げられる。

[0017] （C）成分は、1種または2種以上を配合することができる。（C）成分の配合量は、化粧料の総量に対して、好ましくは10～95質量%であり、

好ましくは15～90質量%であり、より好ましくは20～85質量%である。

[0018] 本発明による化粧料は、揮発性油分を含んでいてもよい。揮発性油分の配合量は、油分の総量（不揮発性油分と揮発性油分との総量）に対して、好ましくは60質量%以下であり、より好ましくは45質量%以下であり、さらに好ましくは20質量%以下である。揮発性油分を含まないことも本発明の一形態である。すなわち、(C)成分の配合量は、油分の総量に対して、好ましくは40～100質量%であり、より好ましくは55～100質量%であり、さらに好ましくは80～100質量%ある。

[0019] (D) 水

本発明による化粧料は、(D)水を含んでなる。水としては、化粧品、医薬部外品等に使用される水を使用することができ、例えば、精製水、イオン交換水、水道水等を使用することができる。

水の配合量は、本発明による化粧料の総量に対して、好ましくは2～80質量%であり、より好ましくは5～75質量%である。

[0020] 本発明には化粧料は、上記成分の他、通常化粧品や医薬品に用いられる成分、例えば、保湿剤、酸化防止剤、防腐剤、アルコール、油相増粘剤、水相増粘剤、粉末成分、色材、安定化剤、キレート剤、香料、紫外線吸収剤、薬剤、エキス等が挙げられ、本発明の効果を奏する限り、一種または二種以上を配合することができる。

[0021] 本発明による化粧料は、リップグロス等の液状口紅、固形口紅、リップ美容液、リップコンシーラーなどに応用することができる。

本発明の化粧料は、常法に従って製造することができる。

実施例

[0022] 以下の例に基づいて本発明を具体的に説明するが、本発明はこれらの例に限定されるものではない。配合量は特記しない限り、総量に対する質量%で示す。

[0023] [実施例1～21および比較例1]

表1 および2 に示される配合で、実施例1～21 および比較例1 の油中水型乳化唇用化粧料を調製した。表中の数値は質量%を示す。

[表1]

表1	実施例										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(A) 赤227	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
(B) ジオセドドデキステアリン酸PEG-30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ジノステアリン酸ポリオキシエチレン-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
テトラエチルヘキサン酸ペンタエリスリチル	20	24	28	48	68	26	—	—	—	—	—
ジノステアリン酸グリセリル	—	—	—	—	—	—	28	—	—	—	—
リンゴ酸ジノステアリン	—	—	—	—	—	—	—	28	—	—	—
(C) 水添ポリデセン	—	—	—	—	—	—	—	—	28	—	—
ミネラルオイル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28	—
水添ポリイソブテン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ジフェニルジメチルシクロトリメチレン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28
イソパラフィン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(D) 水	78.9	74.9	70.9	50.9	30.9	70.9	70.9	70.9	70.9	70.9	70.9
合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
安定性	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
染付き	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B
ツヤ感	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
保湿感	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A

[表2]

表2		実施例										比較例
		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1
(A)	赤227	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
(B)	ジセドドキシステアリン酸PEG-30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.2	—
	ジノステアリン酸ポリオキシエチレン-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	テトラエチルヘキサン酸ペンタエリスリチル	26.5	3	38	38	—	—	—	25	14	28	28
	ジノステアリン酸グリセリル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	リンゴ酸ジノステアリン	—	—	10	—	10	10	20	—	—	—	—
(C)	水添ポリデセン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ミネラルオイル	—	—	—	—	38	18	13	—	—	—	—
	水添ポリイソブテン	—	—	—	10	—	20	35	—	—	—	—
	ジフェニルジメチルシクロトリメチレン	1.5	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	イソパラフィン	—	—	—	—	—	—	—	3	14	—	—
(D)	水	70.9	70.9	50.9	50.9	50.9	50.9	30.9	70.9	70.9	71.7	70.9
	合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	安定性	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	染付き	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	C
	ツヤ感	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A
	保湿感	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A

表中、

「水添ポリイソブテン」の粘度は、18,000 mPa・sである。

[0024] 安定性の評価

上記で調製した化粧料をサンプル管に充填し、外観を目視により観察し、以下の基準で安定性を評価した。

A：外観に変化はなく、安定性に優れていた。

B：わずかに凝集やクリーミングが観察された。

C：凝集やクリーミング、分離が観察された。

この評価がCである場合は、以降の評価は行っていない。

[0025] 染め付きの評価

上記で調製した化粧料を、腕に塗布し、10分後に、塗布部に対してティッシュペーパーで拭き取りを行い、塗布部分の変化を目視で確認し、以下の基準で評価した。

A：拭き取り後も塗布部全体に塗布した化粧料の色が確認された。

B：拭き取り後も塗布部の一部に塗布した化粧料の色が確認された。

C：拭き取り後に塗布部に塗布した化粧料の色が確認されなかった。

[0026] ツヤ感および保湿感の評価

10名の専門パネルが上記で調製した化粧料を唇に塗布した際のツヤ感および保湿感について、以下の採点基準に基づいてそれぞれ採点し、そのスコア平均値を以下の基準で評価した。

(スコア)

3点：とても感じる

2点：感じる

1点：感じない

(評価基準)

A：スコア平均値2.0以上

B：スコア平均値1.5以上～2.0未満

C：スコア平均値1.5未満

[0027] 表3に処方例を示す。

[表3]

表3 処方例（液状口紅）

成分	配合量（質量％）
水	残部
赤 2 2 7	0.34
黄 5	0.01
黄 4	0.1
黄 1	0.05
シボリドロキシステアリン酸 P E G - 3 0	1.0
ミネラルオイル	15.0
リンゴ酸ジイソステアリル	20.0
水添ポリイソブテン	35.0
パルミチン酸デキストリン	4.0
グリセリン	3.0
B G	3.0
D P G	3.0
クエン酸	0.05
クエン酸 N a	0.05
E D T A - 3 N a	0.1
エタノール	4.0
キサンタンガム	0.3
イザオイバラエキス	0.1

請求の範囲

- [請求項1] (A) 水溶性染料、
 (B) ジポリヒドロキシステアリン酸ポリオキシエチレン、
 (C) 不揮発性油分、および
 (D) 水
 を含んでなる、油中水型乳化唇用化粧料。
- [請求項2] (B) ジポリヒドロキシステアリン酸ポリオキシエチレンが、ジポリヒドロキシステアリン酸 P E G - 3 0 である、請求項 1 に記載の化粧料。
- [請求項3] (C) 不揮発性油分が、不揮発性炭化水素油または不揮発性エステル油を含んでなる、請求項 1 または 2 に記載の化粧料。
- [請求項4] (B) ジポリヒドロキシステアリン酸ポリオキシエチレンの配合量が、化粧料の総量に対して、0.05～5 質量%である、請求項 1 または 2 に記載の化粧料。
- [請求項5] (C) 不揮発性油分の配合量が、化粧料の総量に対して、10～95 質量%である、請求項 1 または 2 に記載の化粧料。
- [請求項6] (C) 不揮発性油分の配合量が、油分の総量に対して、40～100 質量%である、請求項 1 または 2 に記載の化粧料。
- [請求項7] (A) 水溶性染料の配合量が、化粧料の総量に対して、0.01～1 質量%である、請求項 1 または 2 に記載の化粧料。
- [請求項8] (D) 水の配合量が、化粧料の総量に対して、2～80 質量%である、請求項 1 または 2 に記載の化粧料。

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2023/043084

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER**A61K 8/06**(2006.01)i; **A61K 8/46**(2006.01)i; **A61K 8/86**(2006.01)i; **A61K 8/92**(2006.01)i; **A61Q 1/04**(2006.01)i

FI: A61K8/06; A61Q1/04; A61K8/86; A61K8/92; A61K8/46

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A61K8/00-8/99; A61Q1/00-90/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996
 Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2024
 Registered utility model specifications of Japan 1996-2024
 Published registered utility model applications of Japan 1994-2024

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

Mintel GNPD

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2021-501192 A (L'OREAL) 14 January 2021 (2021-01-14) claims, paragraphs [0001], [0047], [0063]-[0070], [0110]-[0114], [0122]	1-8
Y	paragraphs [0110]-[0114]	1-8
Y	JP 2021-506734 A (LVMH RECHERCHE) 22 February 2021 (2021-02-22) claims, paragraph [0062], examples	1-8
A	JP 2003-63931 A (NOEVIR CO., LTD.) 05 March 2003 (2003-03-05) claims, examples	1-8
A	JP 2002-97111 A (NIHON SURFACTANT KOGYO) 02 April 2002 (2002-04-02) claims, examples	1-8
A	JP 2020-29444 A (KOSE CORP.) 27 February 2020 (2020-02-27) claims, examples	1-8
A	JP 2000-154114 A (BEIERSDORF AG) 06 June 2000 (2000-06-06) claims, examples	1-8



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 “D” document cited by the applicant in the international application
 “E” earlier application or patent but published on or after the international filing date
 “L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 “O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 “P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

04 January 2024

Date of mailing of the international search report

30 January 2024

Name and mailing address of the ISA/JP

Japan Patent Office (ISA/JP)
 3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915
 Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2023/043084

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	US 2006/0134035 A1 (AVON PRODUCTS, INC.) 22 June 2006 (2006-06-22) claims, examples	1-8
A	Lip Care, MINTEL [online], [retrieved on 04 January 2024], Mintel GNPD, December 2016, ID#: 4461945, Internet: <URL: http://www.gnpd.com> product description, ingredients	1-8

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.

PCT/JP2023/043084

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)	Publication date (day/month/year)
JP	2021-501192	A	14 January 2021	US 2020/0352844 A1 claims, paragraphs [0001], [0079], [0083]-[0124], [0169]- [0173] WO 2019/091663 A EP 3706870 A1 FR 3073146 A1 CN 111295227 A KR 10-2020-0081447 A	
JP	2021-506734	A	22 February 2021	US 2021/0169751 A1 claims, paragraph [0065], examples WO 2019/115958 A1 EP 3723717 A FR 3075047 A CN 110678165 A KR 10-2020-0098387 A	
JP	2003-63931	A	05 March 2003	(Family: none)	
JP	2002-97111	A	02 April 2002	(Family: none)	
JP	2020-29444	A	27 February 2020	(Family: none)	
JP	2000-154114	A	06 June 2000	US 2002/0146438 A1 claims, examples EP 1002569 A2	
US	2006/0134035	A1	22 June 2006	WO 2006/068717 A2	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） A61K 8/06(2006.01)i; A61K 8/46(2006.01)i; A61K 8/86(2006.01)i; A61K 8/92(2006.01)i; A61Q 1/04(2006.01)i FI: A61K8/06; A61Q1/04; A61K8/86; A61K8/92; A61K8/46		
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） A61K8/00-8/99; A61Q1/00-90/00 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2024年 日本国実用新案登録公報 1996-2024年 日本国登録実用新案公報 1994-2024年 国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語） Mintel GNPD		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X	JP 2021-501192 A（ロレアル）14.01.2021（2021-01-14） 特許請求の範囲、段落0001、0047、0063-0070、0110-0114、0122	1-8
Y	段落0110-0114	1-8
Y	JP 2021-506734 A（エルヴェエムアッシュ ルシエルシュ）22.02.2021（2021-02-22） 特許請求の範囲、段落0062、実施例	1-8
A	JP 2003-63931 A（株式会社ノエビア）05.03.2003（2003-03-05） 特許請求の範囲、実施例	1-8
A	JP 2002-97111 A（日本サーファクタント工業株式会社）02.04.2002（2002-04-02） 特許請求の範囲、実施例	1-8
A	JP 2020-29444 A（株式会社コーセー）27.02.2020（2020-02-27） 特許請求の範囲、実施例	1-8
☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリー “A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技术水準を示すもの “D” 国際出願で出願人が先行技術文献として記載した文献 “E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの “L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） “O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 “P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献 “T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの “X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの “Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの “&” 同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了した日 04.01.2024	国際調査報告の発送日 30.01.2024	
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 〒100-8915 日本国 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	権限のある職員（特許庁審査官） 相田 元 4D 3647 電話番号 03-3581-1101 内線 3468	

C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2000-154114 A (パイヤースドルフ・アクチエンゲゼルシャフト) 06.06.2000 (2000 - 06 - 06) 特許請求の範囲、実施例	1-8
A	US 2006/0134035 A1 (AVON PRODUCTS, INC.) 22.06.2006 (2006 - 06 - 22) Claims, Examples	1-8
A	Lip Care, MINTEL [online], [検索日 2024.01.04], Mintel GNPD, 2016.12, ID# : 4461945, インターネット : <URL : http://www.gnpd.com > 商品説明、成分	1-8

国際調査報告
 パテントファミリーに関する情報

国際出願番号

PCT/JP2023/043084

引用文献			公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP	2021-501192	A	14.01.2021	US 2020/0352844 A1 Claims, [0001],[0079], [0083]-[0124],[0169]- [0173] WO 2019/091663 A EP 3706870 A1 FR 3073146 A1 CN 111295227 A KR 10-2020-0081447 A	
JP	2021-506734	A	22.02.2021	US 2021/0169751 A1 Claims, [0065], Examples WO 2019/115958 A1 EP 3723717 A FR 3075047 A CN 110678165 A KR 10-2020-0098387 A	
JP	2003-63931	A	05.03.2003	(ファミリーなし)	
JP	2002-97111	A	02.04.2002	(ファミリーなし)	
JP	2020-29444	A	27.02.2020	(ファミリーなし)	
JP	2000-154114	A	06.06.2000	US 2002/0146438 A1 Claims, Examples EP 1002569 A2	
US	2006/0134035	A1	22.06.2006	WO 2006/068717 A2	